

## 第9回生物リズム研究会の御案内

今回は東京都神経科学総合研究所の高橋康郎先生のお世話で下記のように開催されます。

場 所：日本都市センター（東京都千代田区麴町）

日 時：9月26日

講演申込締切り：7月31日

講演要旨発送先：〒183東京都府中市武蔵台2-6

神経科学総合研究所・心理学研究室

高橋康郎先生

(TEL0423-25-3881 (e x 4306))

- 講演要旨の到着で講演申込とさせていただきます。講演要旨はA4、1枚で左右上下最小2cmづつの空白を入れてください。最上段に演題、次行に発表者氏名、所属、次行から本文をお書きください。原稿はそのままオフセット印刷をしますので、黒インキかまたはワープロでお願いします。講演要旨集は研究会開催までに研究会会誌2号として会員全員に郵送致します。
- 9月24日と25日午前中に臨床時間生物学研究会が開かれます。また25日午後には両研究会合同のシンポジウム「光と生体リズム」が行なわれます。なお懇親会は同日夕方に両研究会合同で開かれます。
- 運営委員会は25日午後の休憩時に行ないます。
- 研究会のくわしいご案内は4月に再度御連絡致します。

## 関連する学会・集会について

### 1. 井上慎一氏（三菱化成生命研）より

NSF Science and Technology Center for Biological Timing が1991年秋に設立され活動を開始しました。アメリカの National Science Foundation では今後基礎科学技術の分野で重点的に発展させる必要があると考える領域を指定し、その研究と知識の普及に中心となるセンターを25指定しました。生物学領域では3つが指定されそのうちの1つが University of Virginia を中心とする Center for Biological Timing です。この NSF Center では色々な活動を予定していますが、日本の学生、研究者の積極的な参加を歓迎するとのことでした。

#### ○ Industrial Symposium が行われました。

2月9～10日（1992）Center for Innovative Technology, Virginia 会社関係者を対象にしたシンポジウムがありました。

1. Biological Rhythms and Shift Work
2. Biological Rhythms and the Pharmaceutical Industry
3. Biological Rhythms and the Transportation Industry
4. Biological Rhythms and the Agricultural Industry
5. Biological Rhythms and the Health Industry

○ NSF center から著名なリズム研究者の講義を収録したビデオが発行されています。上記の Industrial Symposium の記録も含まれています。井上がいくつか購入していますのでお問い合わせ下さい。（三菱化成生命研 TEL 0427-24-6256）

#### ○ Biological Rhythms Course

7月15日～8月14日（1992）University of Virginia

研究者、大学院生及び学部学生を対象にした生物リズムの夏の学校。

第一週 Introduction and Basic Theory of Biological Timing

第二週 Manifestations of Biological Timing

第三週 Mechanisms Underlying Biological Timing

第四週 Biological Timing in Humans

併せて実験の指導とワークショップが行なわれます。応募締切は May. 1, 1992 です。費用はワークショップが \$ 250, Univ. Virginia のアパート料が \$ 112/ week です。詳細は直接 Center for

Biological Timing にご照会下さい。

Center for Biological Timing

Gilmer Hall, University of Virginia

Charlottesville, Virginia 22901

U. S. A.

TEL001-1-804-982-5225

FAX001-1-804-982-5221

E-Mail: clock@virginia.edu

○ Biological Timing に関する日米交歓シンポジウムのお知らせ

1992年12月4日(金), 5日(土)の2日間, NSF Center for Biological Timing の研究者10名 (Block, Friesen, Menaker, Kawasaki, Rissman, Thorner, Veldhuis, Shupnik, Takahashi and Turek) と日本のこの分野の研究者による2日間の公開シンポジウムが東京町田市の三菱化成生命科学研究所で行われます。多くの方の参加を望んでいます。また何人かの来日研究者には日本の各地でセミナーあるいは学部レベルの講義をお願いしています。詳細は夏頃発表いたします。要望などありましたら実行委員会, [井上(三菱生命研), 海老原(名大), 高橋(神経センター), 田畑(西東京大), 石田(微工研), 長谷川(北里)] までお寄せ下さい。尚, このシンポジウムの直前には山口大のシンポジウムが行われます。

2. 千葉喜彦氏(山口大・理)より

国際シンポジウム「概日時計研究における遺伝学的と生理学の接点」が11月30日(月), 12月1日(火), 2日(水)日の3日間, 文部省等の援助で山口大学大学会館で開かれます。

概日リズムの分野の中心課題の一つは, 概日リズムの中核的支配機構(概日ペースメーカーあるいは概日時計)の所在をつきとめ, その振動機構を解明することにあります。これまで, 主として生理学的手法によって, ペースメーカーを含む組織が, 幾つかの動物で明かにされてきましたし, またそのなかで, 研究が細胞レベルにまで及んでいる例もあります。

一方, 近年, 概日リズム機構の本質的部分に関与していると想像されている遺伝子(時計遺伝子)が関心を集めています。

国際シンポジウムは, この二つの流れ(生理学と遺伝学)をうまく合流させることによって, 概日振動機構を解明するための方策を皆で論議するものになりたいと考えています。

論議の中では, 必然的に単細胞生物を扱った生理学的, 分子遺伝学的研究も重要な位置を占めます。

国内外から、10名ずつの招待講演者を予定していますが、一般講演（ポスターになるかも知れません）も計画したいと思っています。

生物リズム研究の分野に課せられた課題は、生物科学のすべての分野にまたがり、さらにそれに関連する人文、社会科学などの分野にまで広がりを見せています。リズムの種類についても、概リズムのみならず、生物の振動現象を広く視野に入れる必要があるような気がします。私は、新しく体制を整えつつある生物リズム研究会に、この広さを期待します。

われわれの国際シンポジウムは、リズム研究分野のごく一部を扱うものですが、研究会の新発足に際して、わが国における研究発展のために少しでも刺激になるものになればと願っています。多くの方のご出席をお待ちしています。

### 3. 中島秀明（岡山大・理）より

1993年9月に国際植物科学会議が開かれます。このときリズム関係のシンポジウムが中島とHastings（ハーバード大）を中心にして行われます。題は「Circadian rhythmicity: cellular expressions and molecular mechanisms」です。演者などくわしいことが決り次第ご連絡します。

## あ　と　が　き

ニューズレターの第一号がなんとか形になりました。これは「会報」なのか、「会誌」なのか微妙な厚さですが、これから立派な会誌にしていきたいと思います。ご協力をお願い致します。お忙しいにもかかわらず、今回の原稿をお送り下さった方々に感謝したいと思います。次号からも内容を特に限定しないで、リズム関係の情報ならなんでも掲載していきたいと思っています。会員の方の積極的な投稿をお待ちしています。会議の企画、予告または結果報告、研究上の疑問またはアイディア、実験のノウハウ、研究室の紹介や小論文も歓迎です。ただし校正の手間を省きたいので、文字原稿はPC9801のテキストタイプのファイルにしてフロッピーディスクで御送りください。5インチ、3.5インチのどちらでも結構です。またそのファイルをプリンターで打ち出して、その中にイタリックやその他の修飾文字を指定してください。また写真や図を使われる場合は、打ち出したものの中に挿入場所を指定してください。校正は原則としてこちらですべて行ないます。

今回のように、集会などの情報を一同に集めると、リズム関係の分野でも活発な活動が行われていることが良く分かります。今年度は2つのリズム関係の国際シンポジウムも開かれます。積極的に参加して、ますます日本のリズム研究を活発化したいものです。また、今回はじめての試みとして、関連学会などにこの研究会の広告を行ないました。その成果として、かなりの数の新会員の参加がありました。直接リズムの研究を行っている人ばかりでなく、興味を持たれている方が近くにおられましたら、この会への参加を呼び掛けてくださるようお願い致します。

岡山大学内の電話番号が4月13日から変更になります。事務局はダイアルインで0862-51-7858です。宜しく申し上げます。

生物リズム研究会事務局